

# News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)  
山梨大学  
はくばく  
The Kokumotsu Company

cmic



Vol.4 2021年9月発行

## ご報告

### 令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました

令和3年6月30日（水）、山梨大学甲府キャンパス大村智記念学術館（Zoom同時配信）において、令和3年度ダイバーシティマネジメント研修会を開催しました。

研修会には、内閣府地域働き方改革支援チーム委員の渥美由喜（あつみなおき）氏をお招きし、「ダイバーシティ・女性活躍を取り入れたマネジメントとは～すべての人が働きがいのある職場づくりを考えよう～」と題してご講演いただきました。講演では、ご自身の発達障がいの経験を交えて、「ダイバーシティマネジメント」の本質や多様な人材をマネジメントする上で、多面性の観点から「加点方式」を採用する必要性などについてお話しいただきました。

この研修会には、学内外合わせて84名（会場25名、Zoom配信59名）が参加しました。研修会後のアンケートでは、「講師ご自身の経験に基づく話であったため、具体的で分かりやすかったです」「ダイバーシティという名前だけで勘違いしていたダイバーシティマネジメントの本質を理解できました」「非常に面白い内容で、共感できる点が多くありました。多面性という点での、具体的な話がわかりやすく、社内で取組の考え方にも生かせる内容と感じました」などの感想をいただきました。



## ご報告

### 令和3年度共同研究支援の継続が決定しました

本事業では、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばくと共同研究を行う本学の女性研究者を昨年度より支援しています。

今年度につきましては、研究申請書・報告書に記載の内容および今後の発展性等について株式会社はくばくおよびシミックホールディングス株式会社の担当者と意見交換を行い、昨年度の共同研究を継続し進めていきたいとの結論に至りました。

継続支援する共同研究テーマと共同研究先は、以下のとおりです。

継続支援する共同研究テーマ		共同研究先
1	穀物の機能性に関する研究	株式会社はくばく
2	アレルギーに関する研究	シミックホールディングス株式会社
3	発達障害児養育者のリテラシーと児のメンタルヘルスに関する研究	シミックホールディングス株式会社



## お知らせ

# 山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞を公募します

第6回「山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞」を公募いたします。これは、女性研究者の研究意欲をさらに高めること、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者を育成すること、本学の男女共同参画を促進することを目的として実施しております。

### 【対象】

本学に所属する女性研究者（大学院生・研究員等ならびに学部生を含む。）または本学の女性研究者を研究代表者とする研究グループで、次の各号に掲げる賞の区分に応じて行うものとする。

- (1) 優秀賞 教育研究のマネジメントにおいて優れた業績を挙げたと認められる者、もしくは、学術上優れた研究成果を挙げたと認められる者または研究グループ
- (2) 奨励賞 40歳未満の若手研究者又は博士取得後8年未満（ただし、産休・育休期間を除く。）で、優れた研究成果を挙げることが期待されると認められる者

**【公募期間】** 令和3年7月15日（木）～令和3年9月30日（木）

- 【提出書類】**
- ・山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞 推薦書（別紙様式）
  - ・表彰の対象となる事項に係る資料等（該当資料がある場合）

**【提出方法】** 推薦者が、上述の提出書類を下記のメールアドレスにお送りください。

関連する参考資料等がメールに添付できない場合は、男女共同参画推進室まで  
学内便にてお送りください。

E-mail : danjo@yamanashi.ac.jp

※詳しい実施要項、推薦要項等はHP (<https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>) をご覧ください。



## 育休取得者にインタビュー

第2弾！ 一山梨大学編

**Q. 育児休暇を取得した期間を教えてください**

**A.** 9ヶ月間取得しました。

**Q. 育児休暇の取得について誰かに相談をしましたか**

**A.** 家族、職場の上司などに相談をしました。

**Q. 職場は育児休暇を取得しやすい雰囲気でしたか。**

**A.** 上司の理解があったので取得しやすかったです。  
相談しながら、産前より取得計画を立てました。

**Q. 育児休暇中の過ごし方について教えてください**

**A.** 家事協力、育児がメインでした。公園に行ったり、図書館で本を借りてきて読み聞かせをしたりしました。  
また、週1日お互いに育児から離れ休む日を決めて過ごしていました。

**Q. 育児休暇を取得して良かった点があれば教えてください**

**A.** 子どもと2人で過ごす時間を多く持つことができ、  
自分一人で解決しなくてはいけない場面に多く遭遇しました。子育ては孤独だということが分かり良かったです。

本News Letterでは、今年度4回にわたり男性育休取得者にインタビューを行います。

今回は、前号と同じく山梨大学にて育休取得した男性職員にインタビューを行いました！

**Q. 育児休暇を取得して悪かった点、困った事があれば教えてください**

**A.** 特にありません。協力し、取得させてくれた職場への感謝の気持ちが大きかったです。



**Q. 復職はスムーズに行えましたか**

**A.** はい、育児休暇中も職場には引継ぎ等でたまに顔を出していたので、スムーズに復職できました。

**Q. 今後、同じような機会があった場合、制度をまた利用したいと思いますか**

**A.** はい、実際に2人目が生まれた時も取得したかったのですが、仕事の都合で取得できませんでした。

**Q. 今後育児休暇を取得される方にアドバイスなどがあれば教えてください**

**A.** 子どもの成長過程で一度しかない時期を近くで味わえた経験でした。みなさんにもぜひ取得してほしいと思います。



## 山梨大学 地域人材養成センター／男女共同参画推進室

〒400-8510 甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: [danjo@yamanashi.ac.jp](mailto:danjo@yamanashi.ac.jp)  
HP: <https://diver-danjo.yamanashi.ac.jp/>